

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 2021年 2月20日

事業所名: おんぷ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動内容によって空間を仕切ったり開放したりすることで対応している。	・目の届く範囲としては適切だが、人数が増えるとスペースが足りない。また、ベアトレやSSTなどを行うとスペースが足りない。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・常勤6名、非常勤4名。基準より多い人数配置で対応している。	・送迎やベアトレ、SSTなど重なった際、スタッフが少なくなってしまう場合がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・個室と広い訓練室があり、活動内容や児の状況に応じて使用する場所を変えている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・日々清掃を行っている。備品については危険箇所がないかチェックしている。	・スイング下のマットは毎日移動させられないため、管理が難しい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・日々の振り返りや活動内容設定について、主担当者を中心にスタッフ全員で行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・第三者による外部評価が行われているか把握できていない。 ・今後は第三者委員会の設置も検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・自宅等でも個々のペースで学習できるよう、研修動画も活用している。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・最低6ヶ月に1回はモニタリングを実施し、アセスメント会議実施後、計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・遠城寺式・乳幼児分析的発達検査で評価を行っている。 ・遠城寺式は全ての児に対し使用。その他児の状況に応じたアセスメントツールを組み合わせて使用。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・それぞれの項目に応じた目標設定・支援内容を作成している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・計画に沿って具体的な活動・支援内容を決定している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・スタッフそれぞれが児に必要な活動内容を考えている。 ・アセスメント会議を実施している。	・月交替で児の担当を決めているため、個別でのプログラム立案になりがちになる。 ・今後は話し合いを増やしていけるとよい。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
15の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・個別・集団それぞれの活動内容を複数設定し、その日の状況に応じて対応できるようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・初回面談時に評価を行い、それぞれの課題に応じて、個別・集団の別や回数を設定している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・支援担当者やそれぞれの役割について事前に確認を行うようにしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・終了後は、記録と共に現状について出し合い、振り返りを行うようにしている。	・気付いた点などを共有する場合もあるが、もう少し増えるといいかと思う。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・保護者向けの連絡帳だけでなく、より詳しい内容を記録に残し、支援内容の検証・改善を行いやすいようにしている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・最低6ヶ月に1回はモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・主に児童発達支援管理責任者が参加。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・地域の子育て支援会議に参加している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて、電話、文書、面談での情報共有を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・学校見学に行ける際は、極力見学に行ったり、学校からの見学も受け入れている。 ・移行支援シートや直接訪問を通して情報伝達を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・センター主催の研修会や連絡会に参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・障害のない児と活動する機会はほとんどない。 ・園との並行利用児が多いため、現在あまり必要性を感じていない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・地域の子育て支援会議に参加している。	・自分自身ほとんどできていない。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・活動後に保護者にフィードバックを行い、悩み等を確認している。 ・送迎時や保護者同伴通所時に家庭での様子やニーズについて話を聞いている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・非常勤心理士によるペアレントプログラム、トレーニングを実施している。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に掲示書類をもとに説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別支援計画の内容説明時にガイドラインの内容の表と照らし合わせながら説明を行うようにしている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・送迎時、保護者同伴通所時、個別面談等様々な方法で相談に対応している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・定期的な保護者会やペアトレ等を行っている。 ・年に数回保護者会を開催している。本年度はコロナの影響で回数、参加人数を少なく設定し、実施した。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情、相談に対する担当者を決め、契約時に説明している。苦情、相談があった際は、スタッフで情報を共有し、迅速に対応するようにしている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月1回おんぶだよりを発行している。(HP及び紙面)	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・契約時に個人情報に関する同意書について説明し、同意をいただき、内容に沿って対応している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚支援を必要に応じて活用している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・本年度はコロナ対策のため、外部からの入室を制限させていただいた。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・全てのマニュアルを策定し、書棚にファイルを保管。いつでも見られるようにしている。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・年2回、避難訓練を実施している。	
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		・契約時だけでなく、定期的に受診や服薬、コントロール状況について保護者に確認している。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・契約時に保護者にアレルギーの有無の確認を行っている。 ・その都度保護者からの申し出により対応している。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		・事例についてその都度記録し、内容や対策について情報を共有している。	
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		・外部研修に参加するとともに、内部での伝達講習を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待や身体拘束について、外部研修の受講により知識を深めている。 ・やむを得ず行う際の記録・報告様式を準備している。 	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。